



町内5つの小学校で入学式を挙

新しい学校生活にドキドキ・ワクワク

4月7日、町内4つの小学校で入学式が行われ、今年度は95名の児童が入学されました。

門別小学校では24名の新生児がこれからの学校生活の期待を胸に、保護者とともに登校しました。

式中での新生児紹介の際には名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。

校長先生は「大きな声で挨拶をすること、怪我や事故に気を付けて遊んだり勉強すること、自分でできることを1つでも多く増やすことの3つを大事にして、楽しい学校生活をおくってください」とエールを送り、在校生は歓迎の歌で新生児を迎えていました。



今年からG I 昇格レース「大阪杯」

キタサンブラックが初代王者に

4月2日、東京競馬場で開催された中央競馬G I 競走、第61回大阪杯で福満のヤナガワ牧場生産馬キタサンブラック号が優勝し、牧場にはたくさんの関係者が訪れて祝福しました。

同競走は今年からG I 競走へ昇格され、キタサンブラック号は初代王者となりました。

自宅でレースを見届けた同牧場会長の正克さんは「よくぞ1番人気に応えてくれた。オーナーの北島三郎さんも喜んでくれていると思う。」と話されていました。

キタサンブラック号は今回の勝利でG I 競走4勝目、J R A通算では9勝目を記録し、今後の活躍にも大きな期待が寄せられています。



新規就農を目指して

地域おこし協力隊農業支援員

今年度より、地域おこし協力隊農業支援員として、岩手県出身の上山和明さんが任命されました。

上山さんは平成3年生まれの25歳で、高校卒業後は道内の牧場などで酪農ヘルパーとして活動していましたが、当町の家畜共進会等の手伝いに来ていた際、第三者継承希望の酪農家があることを知り、地域おこし協力隊に応募されました。

今後は、個人の酪農家で研修し、酪農ヘルパーを中心として活動していく予定です。



日高町産業学習入講式・日高高校入学式

日高で多くのことを学びたい

4月11日、平成29年度日高町産業学習入講式及び日高高校入学式が行われ、町内出身者を含む道内から3名、道外から8名が入講、入学されました。

在校生との対面式では、緊張した面持ちのなか、新生児一人ひとりが学校生活での抱負を述べられました。

新生児を代表して、日高町出身の佐々木稜大さんが、今後の学校生活への期待を込めて、力強く宣誓をしました。



畜産クラスター事業により新築牛舎 2 棟が完成

日高町畜産クラスター協議会が平成28年度に補助採択を受けた農林水産省の畜産・酪農収益力強化対策基金事業により、町内 2 社の農業法人で新型牛舎が完成し、3 月31日に農業関係者が訪れ視察が行われました。

新築された牛舎のうち、緑町の合同会社Nature(佐々木淑雄代表)では、総事業費約 2 億4,000万円をかけ、広さ約1,430㎡のフリーストール牛舎となり、給餌やふんの搬出も自動化されました。

また、豊郷の合同会社Dearest Farm(永井良樹代表)では、総事業費約 1 億4,000万円をかけ、広さ約940㎡のタイストール牛舎で、移動式の搾乳機、自動給餌機などが整備されました。

両社とも、45頭ほどだった飼養頭数が新築した牛舎により倍増する見込みです。

本事業は平成28年度では管内で初めての採択となり、牛舎を新築した 2 社とも、地域の酪農産業の発展や後継者対策に大きな期待が寄せられています。

新しく着任されたお医者さんをご紹介します。

平成29年 4 月 1 日付けで門別国民健康保険病院の医長に着任された先生をご紹介します。



①氏名 こくしょう やすのり
國生 泰範

②専門 循環器内科

③出身地 兵庫県

④趣味

体操やマラソンなど、体を動かすことが好きです。今回、海沿いの地域に来ることができたので、海釣りをやってみようかと思っています。

⑤一言・抱負

以前は札幌市の札幌整形循環器病院にて循環器を専門に診療を行っていました。国保病院は外来の患者さんが非常に多いという印象です。自分の経験を活かし、地域医療に少しでも貢献できればと思っています。